



をもつてJ K K K
 全旅連・女性経営者の会
 リレーコラム
 Vol.66

埼玉県秩父市で18
 27年(文政10年)か
 ら鉾泉宿を営んでおり
 ます新木鉾泉旅館の坂
 本千枝子と申します。
 私は9代目の女将で
 すが、現在10代目夫婦
 が修行中です。

山々に囲まれた秩父
 市は都心からもたいへ
 ん近く、自然いっぱい
 の田舎町です。「ちか
 いなか秩父」というキ
 ャッチフレーズで関係
 者ともども頑張ってお

り、都会の人々が秩父
 の景色を見たとき、故
 郷に帰って来たような
 ホッと肩の力がぬける
 という心の癒しの空間
 があります。子どもの
 ころに遠足に行った思



坂本 千枝子さん
 埼玉県秩父市
 新木鉾泉旅館

時代と秩父とともに

い出の場所のような自
 然と共存している秩父
 だからこそ宿屋業を長
 く続けることができた
 のかもしれない。
 秩父の観光というと
 昔から名所とされてき
 たのは、主に、秩父神
 社や三峰神社などの寺

社巡り、川遊びや果物
 狩り、長瀬のライン下
 り、秋の紅葉、そして
 秩父三十四所札所巡
 りなどです。
 札所巡りにはご開帳
 と言われる年があり、
 12年に一度行われま
 す。午年総開帳と言わ
 れ、今年はこちらでそ
 の年にあたります。
 ほかに、近年見どこ
 るも増え、春ごろには
 羊山公園の芝桜(秩父
 市)、彩の国ふるさと
 高原牧場のポピー(皆
 野町)、初夏には蛍が
 飛び交い、冬には氷柱
 の名所ができ、1年中
 楽しんでいただけるよ
 うになりました。
 時代とともに環境も
 大きく変わり、私が嫁
 いだころは繁忙期とも
 なるとご予約の電話が
 絶えず鳴り続け、夕方
 になると声がかれるよ
 うで「今息してたか
 な?」と思うくらいの
 せわしい日々でした
 が、今はインターネット
 トからのご予約が8割
 近くを占めるようにな
 りました。
 でも、世の中がどん
 なに変わろうと、宿屋
 は百年一日の如く変わ
 らないものと時代とと
 もに移り変わるものと
 の両輪で、正解と完成
 がないのが旅館業と思
 っております。ここま
 で長くやってこられた
 のはすべてお客様のお
 かけです。これからも
 お客様に喜んでいただ
 けますように日々精進
 してまいります。
 まもなく10代目にバ
 トンを渡す準備中で
 す。果たしてこれから
 どんな進化をしていき
 ますでしょうか?

〇 次は、同じく埼玉県
 の若竹旅館・関本せつ
 いさんです。